

ます。

橋りょうの老朽化に伴う修繕対応に備えるため、町が管理している15m以上の79橋を対象に強度点検業務を実施するとともに、約半数の40橋については長寿命化修繕計画を策定します。

砂防関係では、砂防施設整備事業（有瀬川・堂の奥川）、災害関連緊急砂防事業（生田地区）、急傾斜地崩壊対策事業（下大野町組）、がけ崩れ防災対策事業（北

川地区他3地区）を町営事業として推進します。

町営住宅建替え事業については、老朽住宅の早期解消と少子・高齢化等に配慮した良質な住環境を提供し、需要に対しては的確性・必要性を吟味し、より実効性のある町営住宅の供給、整備、改善、管理に努めます。

地域公共交通については、現在運行している町営代替バスによる路線延長を実施できるように検討します。

## 教育・文化・スポーツを育み、

### 町民の心豊かな暮らしを実現します

#### 学校教育の振興

小・中学校では、豊かな人間性や公共心、生きる力に満ちた子どもの育成を図り、自ら学び自ら考える力を育てる学習習慣を身に付けさせ、基礎・基本を重視した確かな学力の向上に努めます。

少子化が進んでいることを踏まえ、各学校が創意工夫を凝らした効率的な教育に取り組むため、地域の特性を生かしながら「特色ある学校づくり」「地域から信頼される学校づくり」に

努めます。

学校給食については、安全・安心な給食が提供できるように、衛生管理の徹底と地産地消に取り組み、生きた教材として学校給食を活用し、食に関する教育の推進と効率的な給食運営を目指します。

いじめや不登校等については、人間的なふれあいを通じた生活指導を進め、ハートなんでも相談員やスクール・ソーシャルワーカー等のカウンセラーによる相談活動を実施し、児童・生徒の生きる力を育む教育を推

進みます。

学校や通学路等の安全の確保については、自治会、PTA、住民が一体となつて、校区内外の安全点検活動や、危険箇所マップの作成等、実践的な安全対策に取り組み、スクール・ガードリーダーによる青色回転灯搭載車を使った防犯活動をさらに強化します。

教育環境づくりの一貫として、学校施設の耐震化を推進し、安全・安心な学校教育施設の整備充実に努め、児童・生徒が地震などの災害に対して適切に対応できる能力を養うためのカリキュラムを実施します。

#### 人と文化を育てる町づくり

豊かで成熟した生涯学習社会を構築するため、町民の生涯にわたる自主的な学習活動への支援として、学習の機会や場の提供、学習の情報提供や相談、参画と協働による地域コミュニティの再生等心豊かな人づくり施策を推進し、町民の文化向上と福祉の増進に努めます。

人権教育の推進については、あらゆる差別の解消に向け、家庭、地域社会、学校などが一体となって人権意識の高揚に努め、講座や

セミナーなどで参加体験型の学習を志向しながら、多様な学習会や学習活動のための教材開発、指導者育成、情報の提供などの充実に図り、共に生きる町づくりを推進します。

文化の振興および伝統文化の伝承については、地域における芸術文化活動の核となる芸術文化団体や後継者を育成し、芸術文化活動の進展、芸術鑑賞機会の拡充、文化財の保存活用等地域の歴史が息づく町づくりに努めます。

文化財の保護振興については、貴重な歴史遺産である文化財・史跡を後世に伝えるために史跡等の保護・整備を行います。中でも、平成19年度に国の史跡指定を受けた等妙寺旧境内については、保存整備基本構想策定に向け、計画策定委員会の設置等について検討します。

#### 町民総参加のスポーツ、レクリエーションの推進

健康の保持増進、体力の向上を図り、健康で明るい生活と活力ある社会づくりを促進するため、町民が体力や年齢、技術、興味等目的に応じたスポーツやレクリエーションに親しむこと

ができる環境づくりの提供に努めます。

また、スポーツ団体や指導者の育成に努め、総合型地域スポーツクラブの充実・強化を図り、健全な心身を育む町民総参加型のスポーツ振興に努めます。

#### ◎むすび

鬼北町も合併して5年目を迎えています。鬼北町長の将来像である「森がすくすく、川がいきいき、人が元気」を自然満足都市きほくを基本に、すべての町民がゆとりと優しさに満ちた、自分らしい生き方を実現できる町を目指します。

私は「役場が変われば町が変わる」との認識に立ち、全職員が緊張感を持って職務に専念する風土をつくり上げ、町民の目線に立った町政を展開していく所存です。

行政運営全般にわたって、公平・平等を心掛け、偏ることなく物事に取り組み中庸の精神を持って、町民の皆様への信頼に応えることができるよう、鬼北町発展のために最善を尽くします。